

南アフリカ為替週報

2023年12月14日 | みずほ銀行欧州資金部

<過去1週間の動き> (12月7日～12月13日)

USD/ZAR: 18.6311～19.1386

ZAR/JPY: 7.56～7.78(参照値)

過去1週間の南ア・ランド相場はほぼ横ばい圏での動きながら、ランド安方向に続落する展開となった。本稿執筆時点の後には、米国連邦準備制度(Fed)、欧州中央銀行(ECB)、イングランド銀行(BOE)の金融政策発表が控えており、ランドの小動きの展開も、為替市場全体で様子見姿勢となっていることが背景にあるだろう。

南ア国内の経済指標では、11月分の消費者物価指数(CPI)や、10月分の小売売上高が発表された。12月13日発表の11月分のCPIは前年同月比+5.5%と10月分の同+5.9%から低下した一方、市場予想の同+5.4%ほどには下がらなかった。10月分と比較したCPIの伸び減速は、エネルギー価格でほぼ説明できる。12月以降、国際原油価格の下落などを反映する形で南ア国内のガソリンの卸売価格が低下しており、エネルギーは今後もCPIの伸び抑制要因となる公算が大きい。一方、市場予想対比でCPIが下がりきらなかったのは、卵など一部の食品の値動きが影響しており、南アフリカ準備銀行(SARB)の金融政策判断にとって重要な意味を持つものではないだろう。

同じく13日発表の10月分の小売売上高は前年同月比▲2.5%と9月分の同+1.0%から大幅に減速し、同+0.9%とプラスが見込まれていた市場予想を大きく下回った。前月比で見ても▲1.2%と2か月連続のマイナスとなった。消費の落ち込みは、SARBによる金融引き締めの影響も大きいだろう。上述のCPIの減速とあわせて考えれば、SARBの利上げ局面は既に終了しているというコンセンサスを裏付ける内容であったと言える。

<過去1週間に発表された主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
12/7	09:00	経常収支(対GDP比)	Q3	-1%	-0.3%	-2.7%
12/12	11:00	製造業生産(前年比)	10月	1.7%	2.1%	-4.1%
12/13	08:00	CPI(前年比)	11月	5.4%	5.5%	5.9%
	11:00	小売売上高(前年比)	10月	0.9%	-2.5%	1.0%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

<年末・年始の見通し>

(12月14日～1月10日)

USD/ZAR: 18.00～19.50

ZAR/JPY: 7.10～8.50

年末から年始にかけて、南ア国内の要因には目立った経済指標やイベントは無く、ランド相場は引き続き、外部環境の動向に敏感な展開が続くだろう。まずは今週のFed、ECB、BOE、翌週に控える日本銀行(BOJ)の金融政策の発表が焦点となる。世界の主要中銀の金融政策をこなし、今後、本格的な米金利低下・ドル安局面に再び入る公算が強まれば、代表的な高金利通貨である南ア・ランドへの資金流入が拡大する余地はあるだろう。もっとも、経常赤字と財政赤字の双子の赤字や、低迷する経済成長率など、南アの経済ファンダメンタルズには脆さがある。外部環境が再び逆風となった際には、ランドには下落圧力がかかりやすい点には注意が必要となる。

<年末・年始に発表予定の主要経済指標等>

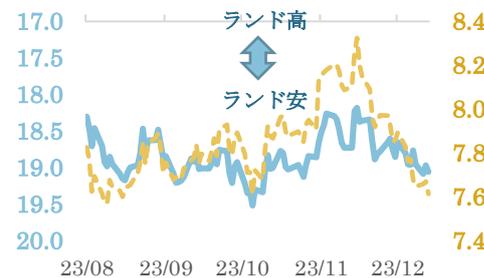
月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
12/29	12:00	貿易収支(10億ランド)	11月			-12.7b
1/8	09:00	製造業PMI	12月			48.2

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

南ア・ランドの推移

実線:対ドルレート(左軸、逆目盛)

点線:対円レート(右軸)

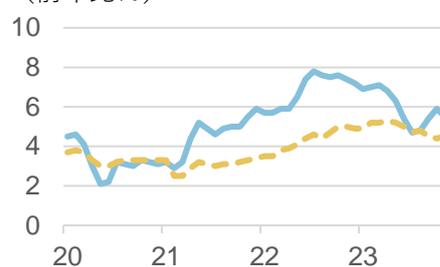


南ア 消費者物価指数(CPI)

実線:ヘッドライン

点線:コア指数

(前年比%)



南ア 小売売上高

(2019年12月=100)



(資料:南アフリカ統計局、ブルームバーグ)

<文責>

欧州資金部

シニア為替ストラテジスト

中島 将行

masayuki.nakajima@mizuhoemea.com

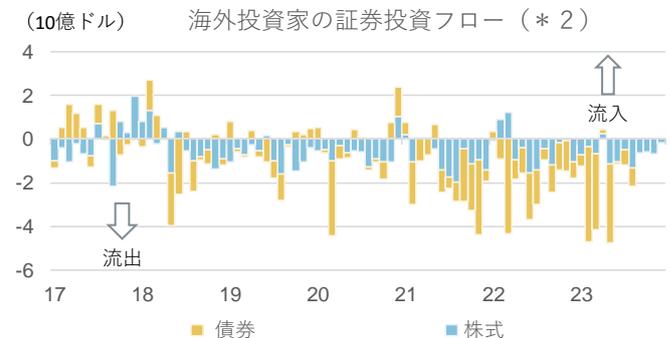
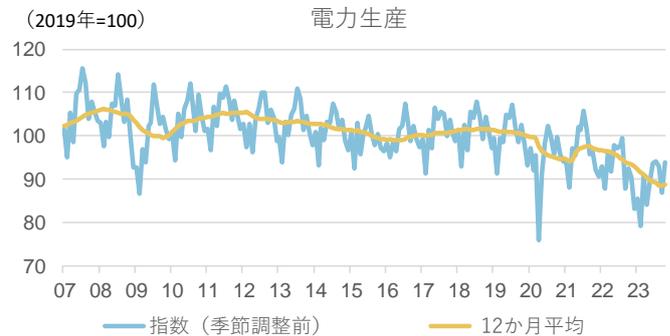
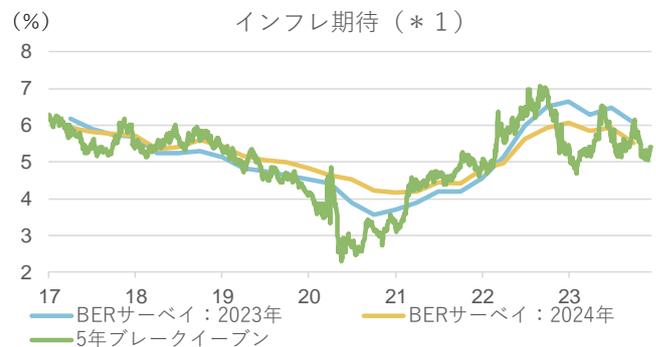
筆者休暇につき、12月中の週報の発行はお休みとさせていただきます。次回発行は2024年1月11日の予定です。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

南アフリカ為替週報

2023年12月14日 | みずほ銀行欧州資金部

<主要経済指標の推移>



* 1 : BERサーベイは南アフリカ経済調査局 (Bureau for Economic Research) による四半期ごとの調査。

経済アナリストや企業などが調査対象となっている。

ブレイクイーブンインフレ率は物価連動国債から算出される、市場が推測する期待インフレ率。

* 2 : 月次データ。ただし、2023年12月は1日から12日までの累計値。

(出所 : 南アフリカ準備銀行、南アフリカ統計局、南アフリカ経済調査局、ヨハネスブルク証券取引所、ブルームバーグ、みずほ)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。